

自然環境保護・保全事業

日本の四季折々の美しい自然や貴重な生態系を次世代に受け継いでいくため、「九重ふるさと自然学校」を拠点に活動すると共に、さまざまな団体とパートナーシップを組み、保護・保全活動を推進しています。

自然遺産保護・保全活動

霧多布湿原保全活動

北海道の認定NPO法人 霧多布湿原トラストとパートナーシップ協定を結び、霧多布湿原の民有地などを取得し、保全していくナショナルトラスト活動を行っています。2010年度までに取得した湿地は、累計で約336haとなりました。



霧多布湿原

グリーンウェイブ2010

国連の生物多様性条約事務局の呼びかけによる植樹活動「グリーンウェイブ」に対し、当財団は、この取り組みの広報活動と苗木の提供に協力しました。「グリーンウェイブ（緑の波）」という名称は、植樹された樹木が、地球上を東から西へ波のように広がって行く様子を表現しています。



NPO法人 エコラ倶楽部（長野）

富士山地域環境保全活動

富士山地域の環境問題を解決するために、NPO法人 富士山クラブと環境パートナーシップ協定を結び、富士山の貴重な自然環境を守る活動に支援を行っています。



富士山清掃

東京の桜の保護活動

NPO法人 東京樹木医プロジェクトの樹木医が有する知識と技術を活用し、市民や行政と連携して衰退したさくらの樹勢回復を図る活動を支援しました。

2010年度は、「千代田区さくら教室」でソメイヨシノの花数調査などを行い、「さくら守活動」では研修会を開催しました。また、活動報告書「地域でさくらを守るための手引書」を作成しました。



全国桜100選の一つに選ばれた千鳥ヶ淵の桜

日光杉並木保護活動

栃木県の「日光杉並木街道」は、日本で唯一の特別史跡・特別天然記念物の二重指定を受けている貴重な文化財です。しかし、年間平均30本の杉が枯れるなど、危機的な状態にあります。

杉並木を保全するために、2010年度は車両等が並木の近くに進出し、根を踏み固めるのを防ぐための踏込防止柵を設置するなど、約12,400本の日光杉並木の保護活動を支援しました。



樹齢380年を超える日光杉並木街道

九重ふるさと自然学校

セブン・イレブン記念財団が大分県九重町で運営する九重ふるさと自然学校は、「人と自然、自然環境と地域社会の共存・共栄を自然から学ぶ」を理念に、地元の方々の指導・協力を得て「くじゅうの自然保護・保



野生動物を探しに行こう

全」と「トキのすめる里づくり」の活動をしています。

2010年度は、九重自然体験の「野生動物を探しに行こう」など新プログラムを実施しました。8月に実施した「第6回トキこども大使」には、地元小学校などから7名が参加しました。



稲刈り